

2024年の主な出来事

1月 6日 **1** 4年ぶりに制限を設けない「はたちの集い」
26日 子育ての疑問に回答! AIチャットボットサービス開始
30日 必要な手続きが分かる「くらしの手続きナビ」運用開始

2月 21日 県下一周駅伝 鹿児島チーム2年ぶり総合優勝
29日 **2** 市ふるさと大使を俳優の迫田孝也さんに委嘱

3月 1日 ・市バスにクレジットカードタッチ決済を導入
・桜島の長期滞在型ゲストハウス「ikoてらす」オープン
3日 **3** 「鹿児島マラソン2024」5年ぶりに通常開催
24日 真砂本町で発見された不発弾を処理
27日 EV(電気)バスの運行スタート
28日 市公式アプリの配信を開始
29日 鹿児島観光コンベンション協会が観光庁登録DMO(観光地域づくり法人)に登録
30日 喜入旧麓交流館「陽だまり」がオープン

4月 1日 ・「市手話言語・障害者コミュニケーション条例」を施行
・福祉の困りごとに連携対応 重層的支援をスタート
9日 鹿児島商業高等学校が共学化となり初の入学式
14日 ・鹿児島市議会議員選挙
4 文化・観光交流協定を締結した鎌倉市と鎌倉まつりで交流
28日 鹿児島レブナイズ 8シーズンぶりのB2リーグ復帰が決定

5月 19日 **5** 「鹿児島焼酎&ミュージックフェスin渋谷」、「渋谷・鹿児島おはら祭」を開催
24日 岐阜県大垣市とフレンドリーシティ協定を締結



6月 21日 市内全ての特別支援学校と福祉こども避難所設置の協定を締結

7月 1日 桜島フェリーの運賃を改定
8日 **6** 市立学校で電子図書館の利用を開始
10日 鹿児島ファン拡大アンバサダーを大原優乃さん、ねおさん、永江優人さんに委嘱
20日 豪・パース市に姉妹都市盟約50周年記念訪問団を派遣

8月 1日 ・食品ロス削減アプリ「かごしまタベスケ」の運用開始
・市ホームページで「認知症おうえんナビ」の運用開始
7日 定額減税補足給付金(調整給付金)給付開始
17日 次世代のデジタル活用人材育成プロジェクト「SakURA」スタート
24日 **7** 「かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会」開催

9月 1日 市立美術館開館70周年
6日 広報紙のWeb版「市民のひろばONLINE」配信開始
17日 市電・市バスのモバイル定期券の販売スタート

10月 1日 子育て世帯の住宅取得費用や引っ越し費用の補助開始

11月 1日 「いんどりマルシェ koriyama」開催(12月8日まで)
2日 約1万8千人が華やかに踊った「おはら祭」(3日まで) **5面**
6日 山形県鶴岡市に兄弟都市盟約55周年記念訪問団を派遣
24日 鹿児島市長選挙・市議会議員補欠選挙

12月 1日 **8** 桜島フェリー就航90周年

市長からのメッセージ

この一年を振り返って

イルミネーションが街角を彩り、年の暮れの訪れを感じています。今年私の1期目の任期を締めくくる年であり、市民の皆さんとお約束した施策の総仕上げに全力を尽くしてまいりました。市政の各面にわたり賜ったご理解やご協力、温かい励ましに、心から感謝申し上げます。

諸施策の推進に当たっては、新年の始まりとともに発生した能登半島地震や、不安定な国際情勢などがもたらす物価高騰の長期化など、地方自治体が様々な困難や課題に直面する中、就任以来基本としてきた「市民のための市政」を担う責務を、より強く胸に刻んで取り組んだ一年となりました。本格的な人口減少時代をしっかりと見据えながら、市民の皆さんが安心安全に生き生きと暮らせるまちづくり、次の世代に引き継いでいく賑わいと活力あるまちづくりを着実に進めてまいりました。

重点施策の一つに掲げる子育て環境の整備においては、今春、保育所等の待機児童数ゼロを達成することができました。子どもたちの健やかな成長には安心できる子育て環境が必要です。その思いを、保育施設や保育士の皆さんはじめ多くの関係者の方々と共有し、多大なご協力のもとで実現できたことに、改めて感謝いたします。

また、急速に進展するICT(情報通信技術)の活用については、「行

かなくてもいい市役所」「書かない窓口」など、市の行政サービスの向上をさらに進めるとともに、産業界・大学・金融機関の皆さんと、地域ぐるみでデジタル化を推進する協議会を立ち上げました。スマートフォンの講習会や相談会などを開催し、高齢者の皆さんにも積極的に参加していただいております。今後、ICTをさらに活用して、地域の様々な課題の解決を図っていきたく考えています。

8月に本市で初めて開催した「アジア太平洋都市サミット」では、アジアの各都市から、雄大な自然や新鮮で多彩な食、美しく快適な街並みなどに対し、多くの賞賛の言葉をいただきました。本市をさらなる成長に導き、その活力を将来にわたって維持していくために、長引く物価高騰への対応に努めながら、市民や事業者の皆さんと共に、鹿児島ならではの魅力を国内外に積極的に発信し、「住みたい・訪れたい」という「選ばれる鹿児島市」の実現を目指してまいります。

令和7年が明るく希望に満ちた年となりますようお祈りいたします。



鹿児島市長 下鶴 隆央